

和歌山商工会議所経営発達支援計画 令和3年度事業評価委員会議事録

① 開催日時:令和4年 6 月 29日(水) 10:30~11:30

② 会 場:和歌山商工会議所 4 階特別会議室

③ 出席者:<委 員>

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 中村達也

(一社)和歌山銀行協会 専務理事 日野和彦

和歌山市産業交流局産業部 部長 中村智裕

和歌山商工会議所 専務理事 田中一壽

<事務局>

和歌山商工会議所 理事・事務局長 真田 昭

企業支援部長 野田浩史

企業支援部参事 白井志功

経営相談課長 中浴正隆

経営相談課 藤村幸司

④ 議 事

令和3年度経営発達支援計画事業 下記の各項目に関して順に説明を実施。

<Ⅰ.経営発達支援事業の内容>

- 1.地域の経済動向調査に関する事
- 2.経営状況の分析に関する事
- 3.事業計画策定支援に関する事
- 4.事業計画策定後の実施支援に関する事
- 5.需要動向調査に関する事
- 6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

<Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組>

- 1.和歌山市商工業活性化担当者会議の開催
- 2.わかやま商工まつりの開催
- 3.ふるさと愛運動の取り組み
- 4.IT・IOT を活用した生産性向上支援
- 5.若者の地元就職のための U ターン事業

各委員からの意見を下記に記載。

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 中村 達也 氏

たくさんのメール配信をされており、職員は良くやっていると思います。これだけの事業計画を作成しているのに、私どもの診断士がどれだけ関わっているのか、専門家派遣以外でもボランティアでもいいので、協

力していきたいと思います。

今後の事で一つは施策の情報提供ですが、商工会議所は経済産業省が所管省庁ですので経済産業省関係の情報はメール配信等でたくさん流していると思いますが、会員には建設業、福祉関係など経済産業省とは違う分野の方が沢山いる中で経済産業省以外の施策情報はどのように仕入れて流しているのかを教えてください。

もう一つはコロナの支援策で事業再構築補助金の支援をしておりますが、採択されてからがものすごく大変なのでその支援をどうしているのか教えてください。

当所 野田部長

中小企業診断協会との連携については中村先生からボランティアでも協力したいという話がありますので、きっちりとシステム化して経営発達支援計画の中でも診断協会との連携を謳っていますので形をきっちりと整えて先生方のお力をお借りして、より精度の高い計画に繋げていけるよう一度、当所で考えたいと思います。

施策の情報提供につきましては、今、中村先生が言われたように経済産業省の情報がほとんどになっております。労働関係系・建設関係系は情報の入手がきっちり出来ていない、発信もできていないということで、当所でも発信できるよう取り組んでみたいと思います。

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 中村 達也 氏

国交省・観光庁からブログが出ていて、情報が入ってきますが、観光事業をしている方がご自身で一生懸命見ている、観光業者から教えてもらうことがあります。私もどういう風にやったらいいのかわからないのでお願いします。

当所 野田部長

補助金のフォローは当所指導員を一人一人割り当てて、担当がついていますので1件1件「今どこまで進んでいますか」というフォローをしつつ、アドバイスはしています。職員ができるだけ話を聞いて、問題がある場合は事務局との間に入って進めていますが、パーフェクトにフォローできているかというと正直出来ていないと思います。

(一社)和歌山県中小企業診断協会 会長 中村 達也 氏

自分でやっていて、一番情けないのは今、電子申請になっていますので電子申請の画面を私たちは見ることができないのです。事務局からどういうことを言われているのかわかりにくいのと、その事務所の担当者にはしか言ってもらえませんので商工会議所はどう対応されているのかなと思います。

当所 田中専務理事

事業再構築補助金でも持続化補助金でも商工会議所が申請内容を確認して確認書を発行していますが、私がいつも言いますのは今の視点でなく、計画自体大丈夫であるのかというものも結構あります。そこを必ず計画通りやってもらうということで補助金が採択されたところからずっと後々フォローしていき、計画通り事業遂行されるように一緒になってやっていくように言っております。

和歌山市産業交流局産業部 部長 中村 智裕 氏

コロナ禍で大変な中、目標を達成しており、かなり努力されていると思います。コロナの影響で展示会等が開催されないことがあったと思いますが、IT やインターネットを活用するなどの変化があったのかお聞かせください。

当所 中裕課長

今まで展示会はリアル開催が多かったのが、延期になっていましたが、結局コロナ感染者が増加してきましたので中止になりました。事業報告に掲載している展示会はインターネット展示会などの代替策が設けられていませんでした。ただ、展示会の動向を見ていると、インターネット展示会みたいなものが出てきますので、将来、展示会はそういう方向になってくるのではないかと考えています。

当所 野田部長

やはり、リアル開催が一番ビジネスに繋がると思います。商談会というのはもう日本だけでなく世界的にもそうですが、商談会からビジネスが始まるという流れになってきていますので、出来るだけ商談会に行きたい思いがあり、予定はしていましたができませんでした。今後はそれだけでなく、直接的なビジネスの繋がり以外で売っていく方法やネットを使ってのビジネスに繋がるような取組というのを今後もう少し情報発信して取り組んでいかなくてはいけないという思いを持っています。

(一社)和歌山銀行協会 専務理事 日野 和彦 氏

本件の報告資料を事前に見まして、今回、商工会議所として結果が良かったのか悪かったのか、どちらかわかりません。また、目標設定が本当に正しいのかということを感じます。

若い経営者と話をすると彼らは銀行員からアポを取られて面談されるのがストレスになります。もう LINE 等でやり取りできるし、LINE を送ってもらえば、夜でも見られるし、どうして銀行員はしてくれないのかという事であって、まさに商工会議所もそういう風に経営相談員が非常に汗をかいてされているのは私どもも知っていますが、もっとタイムリーにしてくれたらいいのにとこの間あります。

当所 野田部長

若者に LINE が求められているという事で、当所も実は「オンライン相談」を始めようという事で始めています。これを広めて会員や地域の小規模事業者にも少しでも効率的に経営相談を受けてもらおうという事で取り組んでおります。

この報告書には会議所としての総括が良かったのか悪かったのかという部分でははっきりとしたことは書いておりません。この目標値はコロナ前に設定した目標値でそのまま進んでしまっており、5年計画という事になっておりますので確かにコロナ禍で目的、目標値があってそれに達成していない部分もあります。どちらかと言うと今できる範囲内で数字だけ見ると達成できたかなと思っています。ところどころ弱くて達成できていない部分もありますし、達成出来た部分も本当にこれでよかったのかという部分もあります。

(一社)和歌山銀行協会 専務理事 日野 和彦 氏

そんなにできなかったと言う必要はないです。コロナの対策で支援をしたから、胸を張ったらいと思います。経営者はお金の話といざという時の対策の二つしか興味がないと思います。今は大変な事態になってお

り、一種の BCP をしないといけない状況になっている事業所が多いということで会員が増えているというのはお金とリスクの不安がある人が増えているだけだと思います。

当所 野田部長

中企庁は父ちゃん母ちゃんのお店でもどんぶり勘定ではなくきっちりと考えていくべきとの理想がありますが、正直、コロナが始まってから皆さんお金の事ばかりに目が行ってしまう状態でした。それから給付金・支援金というのが出てきて、公庫や保証協会付きで民間の金融機関が融資をして、ある程度落ち着きました。今度、国は今までのように支援金を出すばかりでなく、やる気のある所には補助金を出しますということで事業再構築補助金とか持続化補助金という方向に舵を完全に切っています。小規模事業者の皆様はいかに補助金を使ってもらうかという意識に持っていくというのが商工会議所に求められると思います。

当所 田中専務理事

当所の会員が増えるのは良いことですが、本質的なところかどうかは私も思っています。この報告書に限って言えば、目標に対してどうだったかしか書かれておりませんし、数字だけしかあげていませんので中身が薄く、全体として経営発達支援計画の中身についての評価がどうだったのか。ここをしっかりと評価したうえで、どうしていくのかがなければだめなのでこれについては再度、中身を確認したうえで公開したいと思います。

職員は真面目に事業者の声を聴いてどうしたらいいのか考えています。皆様からのご意見をもらいながらやっていきたいと思います。経営発達支援計画についても法律で決まってるから作りました。法律で決まっているから毎年、報告書を作って、委員会をやって、ご意見をもらっていますということをやっても何の意味もありませんので、具体的に事業者さんのプラスになるようにどうやっていくかをきっちり考えていきたいです。こういう場でなくてもいろいろ教えてください。